

令和6年度

地域とともにある学校づくり

保谷小学校 3年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：まもろう 広めよう 保谷小の自ぜん
(活動名)

ねらい：自分たちの学校である保谷小学校の自然環境について調べ、その自然を守ったり、広げたりする活動に、協働して取り組むことを通して、環境を守るということをも自分ごととしてとらえ、生活できるようにする。

【1学期】ビオトープたんけんたい

4年生より受け継いだビオトープを「学校 みんなに知ってもらい、よりよいものにしていきたい。」というテーマで、それぞれが課題を設定して取り組んだ。藻を取り除いて環境を維持することや全校に伝えてみんなに知ってもらうこと、

新たな生き物を育てていくことなど、それぞれの児童に合った活動へとつながっていった。



【2学期】オリジナル樹木プレートを作ろう

豊かな校庭の自然に触れ、様々な気が四季折々の姿を見せることに気付いた子どもたちの様子から、樹木プレート作りに取り組むことへつなげた。本校は、開校150周年を迎える年でもあり「記念に残るものを作成したい。」という子どもたちの願いを大切にして取り組んだ。それぞれのお気に入りの木を選び、プレート作りを行った。



【2.3学期】個別課題で取り組む

上記の活動を踏まえて、保谷小学校の自然を守ったり、広げたりしていくための課題を設定して取り組んだ。

【野鳥を増やしたい】

→冬場に姿が見られるハクセキレイを呼ぶために餌を調べ、自家製の巣箱を設置した。

【実のなる木がほしい】

→給食に出た果物の種を集め、種まきを行った。

出来上がった樹木プレートは、全校朝会で紹介した。また、木を守っていくことについても伝えることができた。



成果

○学校の身近な自然環境を自分たちの力で守っていこうという意識をもつことができ、環境保全の大切さに気付くことができた。また、四季折々の変化に敏感になり、豊かな学校生活へとつながっていくきっかけもなった。